

MITSUBISHI

三菱ルームエアコン

フレキシブル据付台 MAC-360FS

据付説明書

- このフレキシブル据付台は、一段架台・屋根置き・壁面置きの3種類の据付けが可能です。
- このフレキシブル据付台はコンクリート住宅専用です。木造住宅で壁面置きする場合は、別売の「木造住宅取付用アンクル」をお求めください。

据付け場所の選定

- ユニットに付属されている据付説明書の室外の「据付場所の選定」の項目を参照して据付場所を選定してください。

安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

<p>警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。</p>	
<p>●お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。</p>	
<p>警告</p>	
<p>お客さま自身で据付けはしない。</p> <p>●不備があると、ユニットの転倒によるケガの原因になります。お買い上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。</p>	<p>据付けは、据付説明書にしたがって確実に行う。</p> <p>●据付けに不備があると、ユニットの転倒によるケガの原因になります。</p>
<p>据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。</p> <p>●強度の不十分な所に据付けると、ユニットが転倒しケガの原因になります。</p>	<p>据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。</p> <p>●部品に不備があると、ユニットの転倒によるケガの原因になります。</p>
<p>ボルト・ナット類は確実に締め付ける。また、使用忘れ・取付け忘れはないか、確認する。</p> <p>●不備があると、架台が振れ、ユニットの転倒によるケガの原因になります。</p>	<p>架台の上に必要以外のものは、乗せない。</p> <p>●落下によるケガの原因になります。</p>
<p>架台は本体が水平になるように、据付ける。</p> <p>●据付けに不備があると、ユニットの転倒によるケガの原因になります。</p>	<p>コーチボルト・ヒートン釘を構造物に打込む場合は、必ず下穴をあける。</p> <p>●下穴をあけないと、構造物にひび割れが生じます。</p>

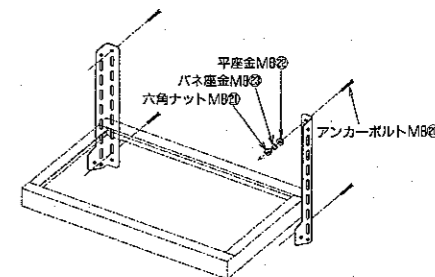
部品表

①ユニット固定具	2	
②段付ボルトM6×30	4	
③防振ゴム	4	防振ゴムセット (袋詰め)
④六角ボルトM6×40	4	
⑤六角ナットM6	4	
⑥平座金M6	4	
⑦パネ座金M8	4	
⑧ベース	1	
⑨前脚	2	
⑩後脚	2	
⑪アンクル	2	
⑫アンダープレート	2	
⑬六角ボルトM8×16	4	
⑭六角ナットM8	4	組立用ボルトセット (袋詰め)
⑮ヒートン	2	
⑯安定座	4	
⑰脚ゴム	4	脚ゴムセット (袋詰め)
⑱六角ボルトM6×20	4	
⑲六角ナットM6	4	
⑳アンカーボルトM8	4	アンカーボルトセット (袋詰め)
㉑六角ナットM8	4	
㉒平座金M8	4	
㉓パネ座金M8	4	
㉔針金	1	
㉕六角ナットM6	4	組立用ボルトセット (袋詰め)
㉖六角ボルトM8×16	12	
㉗六角ナットM8	12	

2. 本体の固定

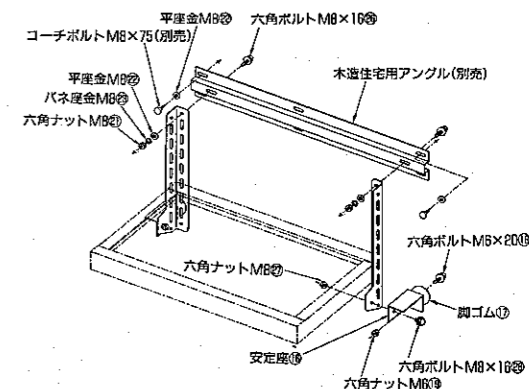
コンクリート住宅の場合

1. 架台を取り付ける壁面に当てて、アンカーボルトの位置をマーキングしてください。
 2. ドリルなどで壁の中の構造材にφ2mm、深さ約45mmの下穴をあけます。
 3. アンカーボルトM8を4本を打ち込んでください。
 4. 架台を平座金M8・パネ座金M8・六角ナットM8で固定してください。
- ※アンカーボルトは、必ず4本使用してください。



木造住宅の場合

1. 別売の「木造住宅取付用アンクル」を用意してください。
2. 前脚に取り付けてあるアンクル⑪と安定座⑯を取り外し再度アンクル⑪を前脚に仮固定します。
3. アンクル⑪をベース⑧側面の段階穴の穴に六角ボルトM8×16⑬・六角ナットM8⑭で固定します。
4. 仮固定してある安定座⑯の六角ボルトM8×16⑬・六角ナットM8⑭を固定します。(2ヶ所)
5. アンクル⑪に後脚⑩と安定座⑯を六角ボルトM8×16⑬・六角ナットM8⑭で共締め固定します。
6. 後脚⑩をベース⑧に六角ボルトM8×16⑬・六角ナットM8⑭で固定します。
7. 架台を平座金M8⑥・パネ座金M8⑦・六角ボルトM8×16⑬で木造住宅用アンクル⑪に固定します。
8. ドリルなどで壁の中の構造材(柱・間柱など)にφ5mm深さ約70mmの下穴をあけます。
9. アンクルをコーチボルトM8×75⑲・平座金M8⑥で水平に固定してください。

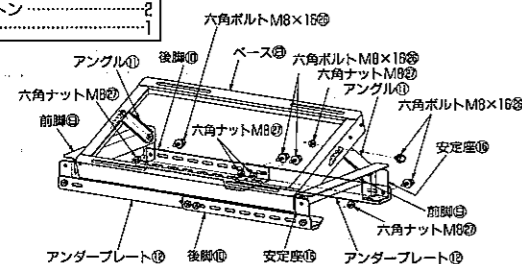


屋根置き

1. 本体の組立

構成部品	
⑧ベース	1
⑨前脚	2
⑩後脚	2
⑪アンクル	2
⑫アンダープレート	2
⑬六角ボルトM8×16	4
⑭六角ナットM8	4
⑮安定座	4
⑯六角ボルトM8×16	10
⑰六角ナットM8	10
⑱ヒートン	2
⑲針金	1

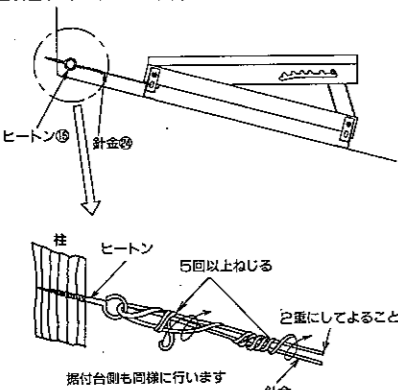
1. 後脚⑩の幅の広い面を底面にしてアンダープレート⑫を置き、両端の丸穴2ヶ所を使用し全長が最大になる位置を六角ボルトM8×16⑬・六角ナットM8⑭で固定します。(前後2ヶ所)
2. アンクル⑪をベース⑧の段階穴に六角ボルトM8×16⑬・六角ナットM8⑭で仮固定します。
3. 作業1で組み立てた部品を六角ボルトM8×16⑬・六角ナットM8⑭で安定座⑯に固定します。



2. 本体の固定

- 警告** 壁面への固定は確実に行ってください。不備があると、ユニットの落下によるケガの原因になります。

1. 屋根置台を屋根にセットし、安定座⑯を屋根の傾斜に合わせて固定します。(4ヶ所)
2. ベース⑧が水平になるようにアンクル⑪を調整してから、仮固定してあるボルトをすべて締め付けてください。
3. 傾斜角度は11~27°まで調節が可能です。
4. 壁の中の強度が十分な構造材(柱・間柱など)にヒートン⑱を取り付け、針金⑲で屋根置台を屋根に固定します。(左右2ヶ所)
5. 固定は必ず左右2ヶ所でおこない、針金は2重にしてください。

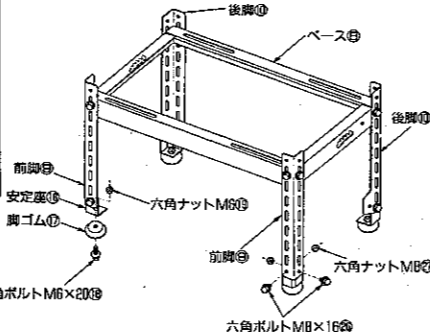


一段架台

1. 本体の組立

構成部品	
⑧ベース	1
⑨前脚	2
⑩後脚	2
⑪アンクル	2
⑫六角ボルトM8×16	4
⑬六角ナットM8	4
⑭安定座	4
⑮脚ゴム	4
⑯六角ボルトM6×20	4
⑰六角ナットM6	4
⑱六角ボルトM8×16	12
⑲六角ナットM8	12
(壁面固定用部品)	
⑲ヒートン	2
㉑アンカーボルトM8	2
㉒六角ナットM8	2
㉓平座金M8	2
㉔パネ座金M8	2
㉕針金	1

1. ベース⑧に仮固定してある前脚⑨を安定座⑯と共に外します。(4ヶ所)
2. 脚ゴム⑮を安定座⑯に、六角ボルトM6×20⑰・六角ナットM6⑱で固定します。(4ヶ所)
3. 安定座⑯を前脚⑨・後脚⑩に、六角ボルトM8×16⑬・六角ナットM8⑭で固定します。
4. ベース⑧に、前脚⑨・後脚⑩を六角ボルトM8×16⑬・六角ナットM8⑭で固定します。

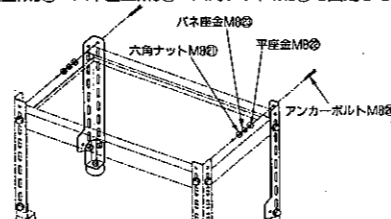


2. 本体の固定

- 警告** 転倒防止のため壁面への固定は必ず行う。不備があると、ユニットの転倒によるケガの原因になります。

コンクリート住宅の場合

1. 架台は水平に設置してください。設置場所に凹凸がある場合には、前脚⑨・後脚⑩の長穴で調整してください。
2. 架台を取り付ける壁面に当てて、アンカーボルト⑲の位置をマーキングしてください。
3. マーキング位置にドリルなどで壁の中の構造材にφ2mm、深さ45mmの下穴をあけます。
4. アンカーボルトM8を2本を打ち込んでください。
5. 架台を平座金M8⑥・パネ座金M8⑦・六角ナットM8⑭で固定してください。



木造住宅の場合

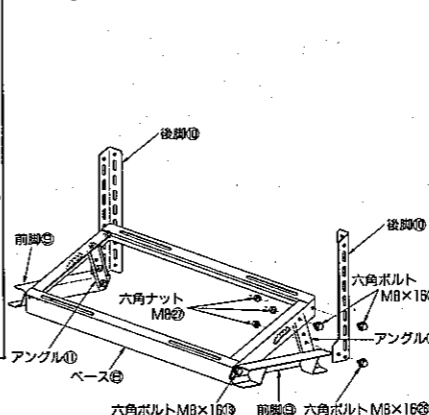
1. 架台は水平に設置してください。設置場所に凹凸がある場合には、前脚⑨・後脚⑩の長穴で調整してください。
2. 壁の中の強度が十分な構造材(柱・間柱など)にヒートン⑱を取り付け、針金⑲で架台を壁面に固定します。(左右2ヶ所)
3. 固定は必ず左右2ヶ所でおこない、針金は2重にしてください。

壁面置き

1. 本体の組立

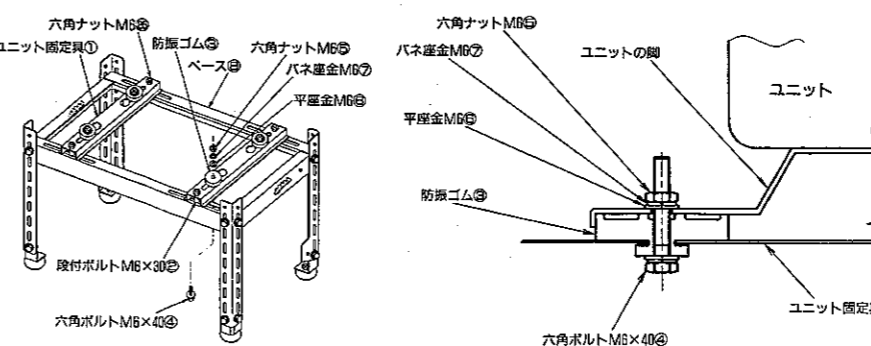
構成部品	
⑧ベース	1
⑨前脚	2
⑩後脚	2
⑪アンクル	2
⑫六角ボルトM8×16	4
⑬六角ナットM8	4
⑭六角ナットM8	8
⑮六角ナットM8	8
(壁面取付用部品)	
㉑アンカーボルトM8	4
㉒六角ナットM8	4
㉓平座金M8	4
㉔パネ座金M8	4
(木造住宅用)	
・木造住宅用アンクル(別売)	
・コーチボルトM8×75(別売)	
⑯安定座	2
⑰脚ゴム	2
⑱六角ボルトM6×20	2
⑲六角ナットM6	2
㉕六角ナットM8	2
㉖平座金M8	4
㉗パネ座金M8	2
㉘六角ボルトM8×16	2

1. アンクル⑪をベース⑧側面の段階穴の穴に六角ボルトM8×16⑬・六角ナットM8⑭で固定します。
2. 仮固定してある安定座⑯の六角ボルトM8×16⑬・六角ナットM8⑭を固定します。(4ヶ所)
3. 後脚⑩をアンクル⑪とベース⑧に六角ボルトM8×16⑬・六角ナットM8⑭で固定します。



3. ユニットの取付け

1. ユニット固定具①に防振ゴム③を取付けます。
2. ユニットの取付け位置をユニット固定具①で調整して決め、仮固定してある六角ナット⑤をしっかりと固定します。
3. 防振ゴム③の上にユニットを載せ、六角ボルトM6×40④・六角ナットM6⑥・平座金M6⑦・パネ座金⑦で固定します。



【ご注意】 段付ボルト②を固定している六角ナットM6④は絶対に外さないでください。(外しますと、ボルトが抜け落ち、落下によるケガや粉砕の原因になります)

4. 据付完了

- 配管接続。電気配線については、ユニット付属の据付説明書に従って据付けを行ってください。